

「整数のかけ算」徹底講座

2023 年前期

京都市内算数サークル

4月29日(土) 1:30~4:30

(定刻開始します)

会場 京都教育文化センター 地階公益事業室
(京阪神宮丸太町駅下車5番出口徒歩5分 / 電話 075-771-4221)

参加費 1000円 (京都市内算数サークル会員は800円)

定員 15人

- ※1) メールで事前申込みをしてください。万一中止の時は、メールでお知らせします。
- 2) マスクの着用をお願いします。
- 3) 定員に達していない場合は当日参加も可能ですが、万一中止の場合も連絡ができないことをご了承ください。

講座の内容

1:00	受付
1:30	自己紹介・各自の問題意識を聴く ①かけ算とは何か? ②かけ算九九の「回復」
2:45	休憩
3:00	③かけ算の「図」 ④整数のかけ算(3年の×I)
4:30	

<申し込み・問い合わせ> 本田陽一

Eメール honda-kyoto@sky.plala.or.jp

後期の予定 9月16日(土)

- | |
|-----------------------------|
| ①かけ算(2年)
②かけ算九九の「習熟」 |
| ③整数のかけ算(3年の×II)
④「倍」のかけ算 |

講師 / 何森真人

(講師について)

1967年、大阪府生まれ。市内の小・中学校から大阪府立高校を経て、大学教育学部に入學。大学では数学教育を専攻していましたが、3回生の教育実習まで教員に興味を湧かず、小学校での教育実習後もコンピュータエンジニア系の会社などに就職活動をしていました。4回生の春に小学校教員を目指すことを決意し、3度目・26歳のときに合格しました。翌年から市内の小学校に勤務。6月に近数協小学校集會に参加して数教協に入會以降、研究会にはほぼ欠かさず参加しています。

教員生活14年目には、和歌山大学大学院に入學。1年目は長期研修休職制度(無給)を利用して自由でたのしい日々を、2年目は現場に復歸して5年生を担当しながら修士論文を書く多忙でたのしい日々を過ごし、「算数科における図形教育の研究ーカリキュラム試案と授業プランー」をまとめました。

30年目の現在、図形教育のカリキュラムとともに、「子どもをほどよく困らせる課題設定」「教育現場のタスクマネジメント」を主な研究課題とし、「教員の多忙化改善」にもとりこんでいます。

(講座について)

「全国学力テスト」など各種テストが学校現場に入りこむなか、テストで点数をとるための練習が増え、「大切なことをいねいに教える」授業をすること自体が難しくなっています。また、コロナ禍の「悪」影響で、学校での学習がより「形式的」になってきています。

しかし、「質の高い算数(数学)をわかりやすく教える」こと無しに、子どもをかしこくすることはできません。深い教材理解(と子ども理解)の上に立った授業こそが、子どもを本当にかしこくすることができるのです。

今回の講座では、小学校での整数のかけ算全体について考えます。計算の型わけとアルゴリズム・補助数字など〈できる〉に関わること、文章題の型わけ・演算決定など〈わかる〉に関わること、また「倍(割合)」に関わることなど、たくさんの課題があります。

それらの課題をみんなでじっくりと学び合いながら、「学力テスト」のためではない、子どもを本当にかしこくするための授業づくりを考えましょう。